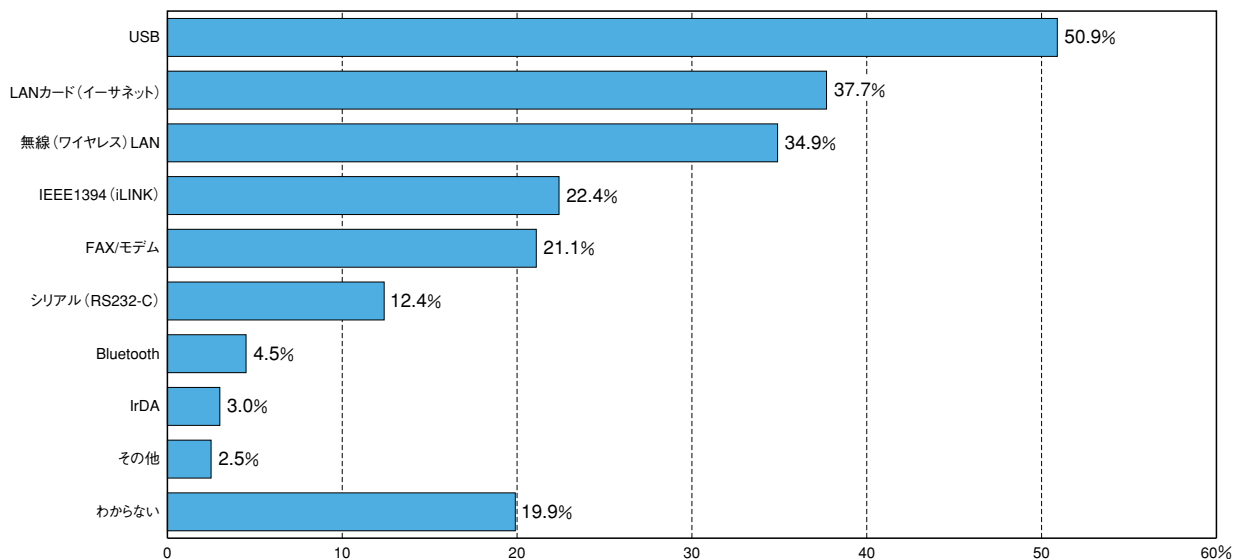


TVとパソコン

無線LAN対応は34.9%

資料2-11-4 家庭のインターネット利用パソコンの通信機能（複数回答） N=1,705

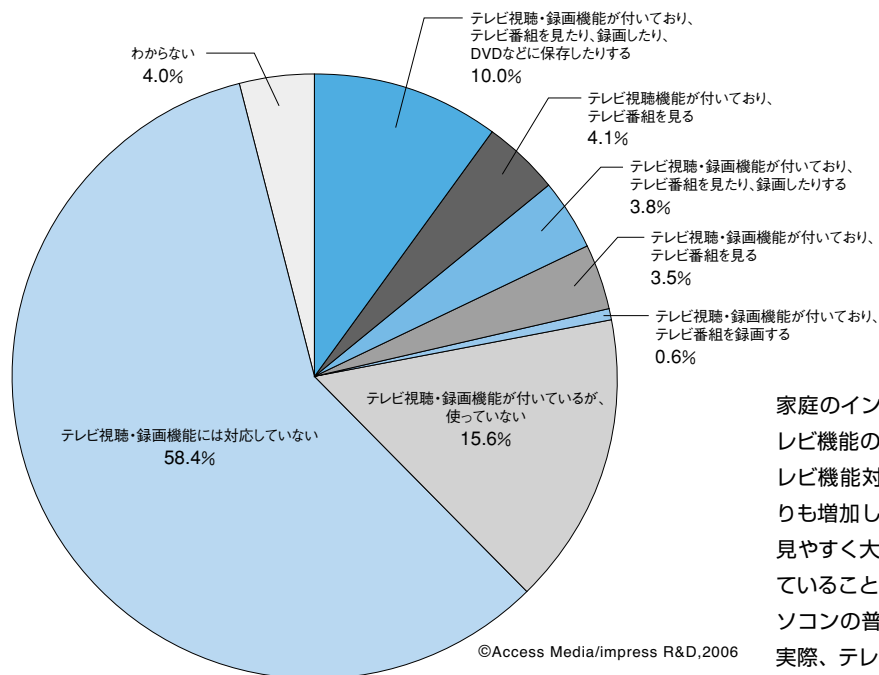


©Access Media/impress R&D,2006

家庭のインターネット利用パソコンの通信機能について聞いたところ、「USB」は50.9%と過半数を超えているが、USB対応PCがすでに主流なため、あえて通信機能としてとらえていない利用者もいると考えられる。また、「LANカード（イーサネット）」37.7%、「無線（ワイヤレス）LAN」対応は、34.9%である。

テレビ機能付きパソコン所有率は37.6%

資料2-11-5 家庭のインターネット利用パソコンのテレビ機能の有無とその利用状況 N=1,705



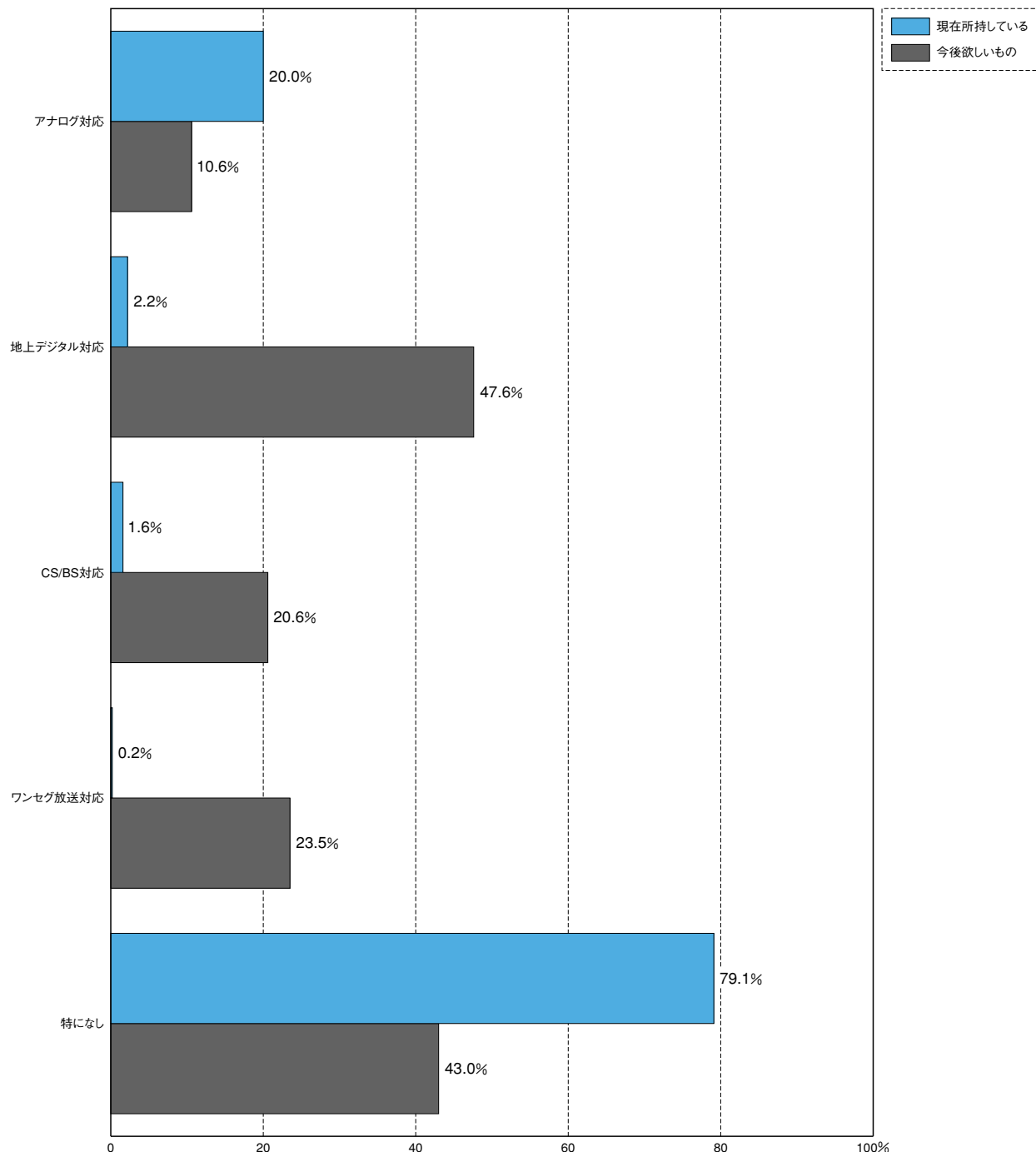
©Access Media/impress R&D,2006

家庭のインターネット利用パソコンのテレビ機能の有無について聞いた結果、テレビ機能対応なのは37.6%で、昨年よりも増加している。液晶ディスプレイが見やすく大きくなり、手頃な価格になっていることなどから、テレビ機能搭載パソコンの普及は伸びていると思われる。実際、テレビの視聴、録画、DVDへの保存として利用している利用者は2割いる。

TVとパソコン

現在の放送タイプは「アナログ対応」、今後は「地上デジタル対応」

資料2-11-6 テレビ機能対応パソコンの放送タイプ（現在所持しているものと今後欲しいもの）（複数回答） N=1,705



©Access Media/impress R&D,2006

テレビ機能対応パソコンの放送タイプを現在の所持状況と今後欲しいものを比較してみたグラフである。回答者全員が対象となっている。現在所持しているタイプは、「アナログ対応」が20.0%で最も高い。一方、今後欲しいものは「地上デジタル対応」で47.6%、「ワンセグ放送対応」が23.5%と続く。2011年のアナログからデジタル放送への移行に伴い、利用者の意識もデジタルに移行しつつある。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp